

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 日本保育者未来通信

②施設・事業所情報

名称：レイモンド西橋本保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：桑原 照美	定員（利用人数）： 80名
所在地：〒252-0131 相模原市緑区西橋本1-7-1	
TEL：042-703-7268	ホームページ： https://www.lemonkai.or.jp/school/nursary/ leimond-nishihashimoto-hoikuen/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2007年02月14日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 檸檬会	
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員： 7名
専門職員	園長： 1名 調理員： 3名
	保育士： 12名 栄養士： 1名（本部）
施設・設備 の概要	乳児室： 2室 保育室： 4室
	沐浴室： 1室 調乳室： 1室
	事務室： 1室 調理室： 1室
	トイレ： 4個 一時保育室： 1室
	屋外遊技場： 276.77㎡（屋上・地上）

③理念・基本方針

<p>【法人理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに喜びを、社会に新しい風を ・笑顔あふれる子どもが住む、未来の地球のために <p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人・命を愛する心 ・自然を愛する心 ・創造（想像）する

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>【日ごろから「つながる遊び」に取り組み、職員や保護者等と子どもの育ちを共有しています】</p> <p>園では、「つながる遊び」をテーマに、日々の保育実践に取り組んでいます。「つながる遊び」は、日ごろから1日の遊びを、その日限りにするのではなく、次の活動につなげたり、作った作品などを残せるようにし、次の日にまた、続きから活動できるようにするなどの取り組みが行われています。一例として、「色」をテーマに、「つながる遊び」に取り組みました。まず部屋の中にある色探しから始め、戸外に出て自然物の色などにも注目しました。その後、戸外で見つけた落ち葉や小さい木の枝などの色を、冬を表現する色として、大きな紙に貼り、冬という季節の表現につなげました。これらの、</p>

「つながる遊び」の取り組みは、法人全体で行われ、職員は定期的に研修を受講しています。各園の取り組みはWork placeと呼ばれる電子媒体のシステムを使用して法人職員が共有できる体制になっています。また、園では、これらの実践をドキュメンテーションと呼ばれる、子どもたちの活動の様子を写真と文章で示した記録で掲示し、保護者等と共有しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年 8月 1日（契約日） ～ 2021年 3月 30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【一人ひとりの子どもたちが十分に遊び込めるよう、人的、物的、空間的環境を整えています】

各クラスの保育室は、子どもの興味や発達に合わせた手作り玩具や知育玩具等が豊富に揃えられているとともに、一人ひとりの子どもたちが十分に遊び込めるよう、遊びの種類ごとにコーナーを設置しています。また、絨毯や置き畳なども常設され、ゆったりと休むことができる環境にも配慮しています。保育者は子どもたちが遊び込んでいる際は傍で見守るなどの“見守る保育”を実践するなど、保育者の人的な環境にも十分配慮しています。また、1階と3階の園庭には、乳児用の丸太吊り橋や幼児用のロープを使った木製のアスレチック遊具、雲梯などが設置され、戸外でも子どもたちが十分に遊び込める環境づくりを行っています。これらの環境づくりについては、固定的なものではなく、定期的に見直しがなされ、子どもの興味や関心に沿って、環境設定を変える取り組みを行っています。これらの、保育者等の人的環境、玩具等の物的環境、さらにコーナー作り等の空間的環境を整え、一人ひとりの子どもたちが十分に遊び込めるよう取り組んでいます。

【さまざまな自己評価を行い、保育の質を高めるとともに、実践内容を保護者等と共有しています】

園では、各職員が年に2回実施される園長面談と個人別目標カード等を通して、目標の達成度について自己評価を行っています。また年に1回、保育所保育指針に沿った項目に対して、自身の保育実践を振り返り、自己評価を行っています。また、園全体の自己評価として、園長、主任及び各クラスの担任が参加し、保育環境評価スケールに取り組んでいます。評価スケールでは、空間と家具、養護、言葉と文字、活動、相互関係、保育の構造の項目ごとの詳細な内容について自己評価を行っています。自己評価の結果にもとづいて、玩具の配置や種類等についても、固定的な環境ではなく、子どもの成長に合わせて配置の工夫や玩具の入れ替えを行うなどの取り組みにつなげています。これらの取り組みは、SNSを使用し、保護者等にも伝えていきます。

◇改善を求められる点

【園の理念、方針に沿った具体的な園独自の中長期計画の策定が望まれます】

単年度計画では「保育面」「人材面」「運営面」「財務面」の項目ごとに目標及び重点取り組み内容が記載されています。取り組み内容に対しては、中間報告を記載すると

ともに、年度末に結果を含め振り返りを行うなど、実施状況の評価を行える内容になっています。一方で、中・長期計画については、法人本部が当園を含めた法人全体の計画を作成しています。計画には、理念や基本方針の実現に向けた保育指針や施設の課題等が挙げられ、目標を明確に定めています。今後は、園の課題として取り上げられている、在園児数の増加等に関する具体的な取り組みを明確にし、数値目標や具体的な成果等を設定し、実施状況の評価を行える内容を踏まえた、園独自の中・長期計画の策定が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回評価を受けるにあたり事業所の方へ何度か質問事項を上げさせていただきました。其の度に丁寧に説明をして頂き着眼点を伝えて頂けたので分かりやすく進めることが出来ました。今、園で実施されていることに対して振り返りを行うことが出来、今後の課題についても考えていく機会になりました。また今回の評価は日ごろの保育に対しての励みにもなり、日々の継続を続けていくことが大切なことだと改めて感じる事が出来ました。運営状況に関しても本部との連携を密にして様々な意見を取り入れ今後もより良い保育園を目指していきたいと思います。丁寧にみていただいた第三者評価の方々に感謝いたします。

書類に関しては普段保育を行うために様々なツールを使用し保育の記録やノウハウを文章化して残していますがかなりの量を行っていることに気づきました。IT化をしていくことに便利さは感じますがシステムを使いこなすには個人差があるので保育の専門以外にもPCを扱うことを同時に勉強していかなければならないことを感じています。特に年齢が高い先生は手書きの時代なのでシステム系は扱うのに抵抗感があります。今後は保育の仕事にもPCが必須になると思いますので保育の専門性プラスの学びが必要になることでしょう。檸檬会の保育園はIT化が進んでいると思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり